

で5回目。市民の保健室に150人が参加した。
約250人、公開講座に約
(久岡照代)

がん告知された時は…

阿知須共立病院で外科医講演

9月の「がん征圧月間」に合わせて、山口市阿知須の阿知須共立病院で診療部長と外科部長を務める工藤明敏医師が28日、同市佐山地域交流センターで講演した。

「『がんです』といわれて困らないために」と題し、

2015年に乳がんの手術を受けた元プロレスラー、北斗晶さんから著名人の症例を紹介。北斗さんは毎年検診を受けていたにもかかわらず、発見時はがんの大きさが2センチだったことを挙げ、検査は万全ではなく、がんの性質によって手術、

抗がん剤、放射線治療といった適切な治療法を選択する必要があることを説明した。

外科医としての長年の経験を踏まえ、がんを告知されショックを受けた患者の心理状況も解説。告知を受けた患者の2割は精神疾患にかかるという、「無理に前向きにならなくていい。家族などに悩みを打ち明け、正しい知識を得てほしい」と呼び掛けた。

講演会は佐山地区地域づくり協議会が開き、同地区の住民85人が聴講した。
(岩崎新)

知事の動静

(29日)

公務なし。

首長の動静

(29日・敬称略)

前田晋太郎(下関市) 秋の



がんに関し講演する
工藤明敏医師＝28
日、山口市